



Annunciator の設定

Annunciator は、Cisco Media Streaming Application サービスを使用する SCCP デバイスです。これを使用すると、Cisco IP Phone およびゲートウェイに事前に録音したアナウンス（.wav ファイル）を Cisco CallManager で再生できます。

Annunciator は、Cisco Multilevel Precedence Preemption と連携して動作し、Cisco CallManager はコールが失敗した理由を発信者に知らせることができます。Annunciator も転送されたコールと会議の一部のトーンを再生できます。

Annunciator を追加、更新、および削除するには、次のトピックを参照してください。

- [始める前に \(P.32-2\)](#)
- [Annunciator の検索 \(P.32-3\)](#)
- [Annunciator の追加 \(P.32-5\)](#)
- [Annunciator の更新 \(P.32-7\)](#)
- [Annunciator のコピー \(P.32-8\)](#)
- [Annunciator のリセット \(P.32-9\)](#)
- [Annunciator の削除 \(P.32-10\)](#)
- [Annunciator の設定値 \(P.32-12\)](#)
- [アナウンスのカスタマイズ \(P.32-13\)](#)

始める前に

Annunciator を設定する予定のサーバで Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスを有効にしたことを確認してください。



ヒント

Cisco CallManager Serviceability で Cisco IP Media Streaming Application サービスをアクティブにすると、Cisco CallManager は自動的に Annunciator をデータベースに追加します。

サービスをアクティブにした後で、Annunciator デバイスは Cisco CallManager を登録します。パフォーマンス モニタ カウンタを見つけて Annunciator が存在するかどうかを確認します。

データベースからデバイスを削除した場合および Cisco IP Media Streaming Application サービスがまだアクティブになっている場合を除いて、手作業で Annunciator デバイスを追加しないことをお勧めします。



注意

Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスを非アクティブにすると、Cisco CallManager は自動的に Annunciator デバイスをデータベースから削除します。

Annunciator の検索

Annunciator を検索する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Service > Media Resource > Annunciator の順に選択します。

Find and List ウィンドウが表示されます。



ヒント

データベースに登録されている Annunciator をすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

特定の Annunciator をすばやく検索するには、次の作業に従って検索条件を指定します。

ステップ 2 最初の Find Annunciators where ドロップダウン リスト ボックスから、Device Name、Device Pool、または Description のいずれかを選択します。



(注)

このドロップダウン リスト ボックスで選択する条件によって、検索時に生成される Annunciator リストのソート方法が決まります。たとえば、Device Pool を選択すると、Device Pool 列が結果リストの左側の列に表示されます。

ステップ 3 2 番目の Find Annunciators where ドロップダウン リスト ボックスから、検索条件のいずれかを選択します。

ステップ 4 必要に応じて適切な検索テキストを入力し、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。

設定した Annunciator のリストが表示されます。

**ヒント**

該当する Annunciator の横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、Find and List Servers ウィンドウから複数の Annunciator を削除できます。Matching Records タイトルバーにあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべての Annunciator を削除できます。

- ステップ 5** レコードのリストから、検索条件と一致する Annunciator アイコン、Description、または関連する Device Pool をクリックします。

選択した Annunciator がウィンドウに表示されます。

関連項目

- [Annunciator の追加 \(P.32-5\)](#)
- [Annunciator の更新 \(P.32-7\)](#)
- [Annunciator のコピー \(P.32-8\)](#)
- [Annunciator のリセット \(P.32-9\)](#)
- [Annunciator の削除 \(P.32-10\)](#)
- [Annunciator の設定値 \(P.32-12\)](#)

Annunciator の追加

Annunciator を追加する手順は、次のとおりです。



ヒント

Cisco CallManager Serviceability で Cisco IP Media Streaming Application サービスをアクティブにすると、Cisco CallManager は自動的に Annunciator デバイスをデータベースに追加します。デバイスを削除していない場合および Cisco IP Media Streaming Application サービスがまだアクティブになっている場合を除いて、手作業で Annunciator デバイスを追加しないことをお勧めします。

始める前に

Annunciator を追加する前に、次の作業が完了していることを確認します。

- Annunciator を設定する予定のサーバで Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスを有効にする。
サービスのアクティブ化については、『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。
- 適切なサーバを設定する。
- デバイス プールを設定する。

手順

ステップ 1 Service > Media Resource > Annunciator の順に選択します。

Find and List annunciator ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ウィンドウの右上にある **Add a New Annunciator** リンクをクリックします。

Annunciator ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 32-1 を参照)。

■ Annunciator の追加

ステップ 4 **Insert** をクリックします。

変更を有効にするには、Annunciator デバイスをリセットする必要があることを確認するメッセージが表示されます。

ステップ 5 **OK** をクリックします。

関連項目

- [Annunciator の設定 \(P.32-1\)](#)
- [Annunciator の検索 \(P.32-3\)](#)
- [Annunciator の更新 \(P.32-7\)](#)
- [Annunciator のコピー \(P.32-8\)](#)
- [Annunciator のリセット \(P.32-9\)](#)
- [Annunciator の削除 \(P.32-10\)](#)
- [Annunciator の設定値 \(P.32-12\)](#)

Annunciator の更新

Annunciator を更新する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [P.32-3 の「Annunciator の検索」](#)の手順を使用して、Annunciator を見つけます。

ステップ 2 更新する Annunciator をクリックします。

ステップ 3 該当する設定値を更新します（[表 32-1](#) を参照）。

ステップ 4 **Update** をクリックします。

デバイスへのストリーミングがアイドル状態であるときに、変更内容が有効になることを確認するメッセージが表示されます。

ステップ 5 **OK** をクリックします。

ステップ 6 **Reset** ボタンをクリックします。

関連項目

- [Annunciator の検索 \(P.32-3\)](#)
- [Annunciator の追加 \(P.32-5\)](#)
- [Annunciator のコピー \(P.32-8\)](#)
- [Annunciator のリセット \(P.32-9\)](#)
- [Annunciator の削除 \(P.32-10\)](#)
- [Annunciator の設定値 \(P.32-12\)](#)

Annunciator のコピー

Annunciator をコピーする手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [P.32-3 の「Annunciator の検索」](#)の手順を使用して、Annunciator を見つけます。
 - ステップ 2** コピーする Annunciator をクリックします。
 - ステップ 3** **Copy** ボタンをクリックします。
 - ステップ 4** 適切な設定値を入力します ([表 32-1](#) を参照)。
 - ステップ 5** **Insert** をクリックします。
-

関連項目

- [Annunciator の設定値 \(P.32-12\)](#)
- [Annunciator の検索 \(P.32-3\)](#)
- [Annunciator の追加 \(P.32-5\)](#)
- [Annunciator の更新 \(P.32-7\)](#)
- [Annunciator のリセット \(P.32-9\)](#)
- [Annunciator の削除 \(P.32-10\)](#)

Annunciator のリセット

Annunciator をリセットする手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1 [P.32-3 の「Annunciator の検索」](#)の手順を使用して、Annunciator を見つけます。
 - ステップ 2 リセットする Annunciator をクリックします。
 - ステップ 3 **Reset** ボタンをクリックします。
 - ステップ 4 続行するには、**OK** をクリックします。
-

関連項目

- [Annunciator の設定値 \(P.32-12\)](#)
- [Annunciator の検索 \(P.32-3\)](#)
- [Annunciator の追加 \(P.32-5\)](#)
- [Annunciator の更新 \(P.32-7\)](#)
- [Annunciator のコピー \(P.32-8\)](#)
- [Annunciator の削除 \(P.32-10\)](#)

Annunciator の削除

Annunciator を削除する手順は、次のとおりです。

Annunciator がメディア リソース グループに割り当てられている場合、Annunciator を削除できません。Annunciator を使用しているメディア リソース グループを検索するには、Annunciator Configuration ウィンドウの **Dependency Records** リンクをクリックします。Dependency Records がシステムで使用可能になっていない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、[P.A-4 の「Dependency Records へのアクセス」](#)を参照してください。使用中の Annunciator を削除しようとする と、Cisco CallManager はエラー メッセージを表示します。現在使用されている Annunciator を削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除する Annunciator を使用するメディア リソース グループに異なる Annunciator を割り当てる。[P.38-8 の「メディア リソース グループの更新」](#)を参照してください。
- 削除する Annunciator を使用するメディア リソース グループを削除する。[P.38-12 の「メディア リソース グループの削除」](#)を参照してください。



注意

Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスを非アクティブにすると、Cisco CallManager はデータベースに存在する Annunciator デバイスを自動的に削除します。

手順

ステップ 1 [P.32-3 の「Annunciator の検索」](#)の手順を使用して、Annunciator を見つけます。

ステップ 2 削除する Annunciator をクリックします。

ステップ 3 **Delete** をクリックします。

警告メッセージが表示されます。

ステップ 4 OK をクリックして、Annunciator を削除します。

関連項目

- [Annunciator の検索 \(P.32-3\)](#)
- [Annunciator の追加 \(P.32-5\)](#)
- [Annunciator の更新 \(P.32-7\)](#)

Annunciator の設定値

表 32-1 では、Annunciator の設定値について説明します。

表 32-1 Annunciator の設定値

フィールド	説明
Host Server	Annunciator デバイスが ANN と一緒に存在しているサーバ名を自動的に追加されます。必要に応じて、異なるサーバを選択できます。
Annunciator Name	<p>デバイスが Cisco CallManager に登録される場合、このフィールドには使用される名前を指定します。最長 15 文字までの名前を文字列で入力します。</p> <p> 注意 文字、数字、ピリオド、ダッシュおよび下線のみを入力してください。</p>
Description	<p>最長 54 文字までの説明を文字列で入力します。デフォルトでは、Annunciator の名前が表示されます。</p> <p> 注意 文字、数字、ピリオド、ダッシュおよび下線のみを入力してください。</p>
Device Pool	Default を選択するか、または設定したデバイス プールのドロップダウン リストからデバイス プールを選択します。
Location	設定したロケーション リストからロケーションを選択します。

関連項目

- [Annunciator の検索 \(P.32-3\)](#)
- [Annunciator の追加 \(P.32-5\)](#)
- [Annunciator のコピー \(P.32-8\)](#)
- [Annunciator のリセット \(P.32-9\)](#)
- [Annunciator の更新 \(P.32-7\)](#)

アナウンスのカスタマイズ

シスコが提供しているアナウンス をカスタマイズする手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** 変更する予定のすべての wave ファイルのバックアップ コピーを保存します。
- ステップ 2** 既存のアナウンスの wave ファイルを C:\Program Files\Cisco\TFTPPath にある元の言語または国のディレクトリから一時ディレクトリにコピーします。一時ディレクトリのファイルを編集します。



注意

ファイル名にコーデック名がない基本のアナウンスの wave ファイルのみをコピーしてください。たとえば、ANNMLPP-BPA.wav ファイルです。

- ステップ 3** Microsoft Sound Recorder または Adobe の Adobe Audition などの音声編集ソフトウェアでファイルを編集します。



ヒント

必要に応じて、レコーディング スタジオからカスタムの録音を挿入できます。

- ステップ 4** Cisco MOH Audio Translator サービスが Cisco CallManager サーバで動作していることを確認します。
- ステップ 5** Service > **Service Parameters** の順に選択します。
- ステップ 6** Cisco MOH Audio Translator サービスが動作しているサーバを選択します。
- ステップ 7** **Cisco MOH Audio Translator** サービスを選択します。

■ アナウンスのカスタマイズ

ステップ 8 サービス パラメータ **Default MOH Volume Level** を **-6** に変更します。このサービス パラメータを **-6** に変更すると、アナウンスの音量が大きくなります。

ステップ 9 Cisco MOH Audio Translator サービスが動作しているサーバで、変更した wave ファイルを次のディレクトリにコピーします。

C:\Program Files\Cisco\MOH\DropMOHAudioSourceFilesHere

ファイルはサポートされているコーデックで 4 つの wave ファイルに変換されません。

ステップ 10 Cisco TFTP サービスを実行しているサーバ上で、5 つの .wav ファイルと 1 つの .xml ファイルを MOH ディレクトリから C:\Program Files\Cisco\TFTPPath にあるロケール ディレクトリに移動します。

たとえば、ロケールが適用されていれば、ファイルを次のディレクトリに移動できます。

C:\Program Files\Cisco\TFTPPath\English_United_States

**注意**

ファイルを移動しないと、サーバはファイルを有効な音楽オーディオ ソースと見なしません。

ステップ 11 Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスを実行しているすべてのサーバに 5 つの .wav ファイルと 1 つの .xml ファイルをコピーします。

ステップ 12 変更したアナウンスのファイルのバックアップを取ります。

**注意**

Cisco CallManager のアップグレード後にこれらのファイルを元に戻す必要があります。Cisco CallManager をアップグレードすると、これらのファイルは保持されません。

ステップ 13 ステップ 5 のサービス パラメータの値をデフォルトの **-24** に更新します。この値を元に戻すと、Music On Hold に使用される音量は小さくなります。

関連項目

- 『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Multilevel Precedence and Preemption」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Annunciator」

■ アナウンスのカスタマイズ